

# Θεραπεία

## セラペウアー

### 知っておきたいキリスト教のことば (19)

## 癒す いやす

聖書を読んでいくと、病気の人を癒す記事が多くみられます。イエス様と彼に従った人たちが、病に悩む人を癒すのです。

この「癒す」という言葉ですが、わたしたちが日常に使っている「治療」という言葉とは、少しニュアンスが違うようです。「治療」は、身体の中で異常をきたした患部の機能回復を目的にしておこなわれます。それに対して「癒し」は、身体だけではなく心も含めて、全体的な回復を目指すものです。病を抱える身体と、これに悩む心をあわせて、回復させることなのです。

福音書が書かれた頃のユダヤでは、病気になることは罪の結果だと考えられていました。日本の「バチがあたる」という考え方も、それに近いのかもしれませんが。罪を犯すことは、神さまから離れることを意味します。その結果として悪霊が身体を支配して、病を引き起こすと考えられていたのです。

その人たちに対して、イエス様は「癒し」をおこなわれました。この「癒し」という原語の中には、「仕える」、「他人を世話する」、「医療上の処置をする」という意味が含まれているそうです。イエス様は病の人たちに声を掛け、手を置くという行為の中で、人に仕え、世話をし、病に侵された身体と心を回復させているのです。

そして「癒し」は「罪の赦し」と関連して考えられます。罪が赦されることによって、罪の結果と見なされていた病が消えるのです。そして罪から解放された人は、神さまとの和解へと導かれ、本来のあるべき姿にかえられるのです。

わたしたちもイエス様に癒していただきましょう。イエス様は、わたしたちはイエス様を信じることによって、生まれながらに持っている「罪」の束縛からも、「永遠の滅び」からも解放されると約束してくださっています。

今回は「癒す」です。楽しみに。



「百人隊長の僕をいやす」

パオロ・ヴェロネーゼ (1528～1588 年)

そこでイエスは、「わたしが行って、いやしてあげよう」と言われた。

(マタイによる福音書 8章7節)

